

## 大阪市立花乃井中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校は落ち着いた環境のもと、教職員と生徒が協働して多様な教育活動を展開することができている。伝統を継承した新たな学校づくりに取り組んでいる。めざす学校像として、「自主性を育てる」「協調性を培う」「責任感を高める」を掲げ、「安全で安心できる学校づくり」の確立のため、人権尊重の精神を基盤として「規律ある学校づくり」と「生徒集団と個人の健全育成」を図り、成果をあげている。

学力面では、この数年の授業力向上、多様な授業づくりの取り組みの成果が顕著で「全国学力・学習状況調査」「中学生チャレンジテスト」において、全国・大阪府・大阪市平均を上回る結果を残している。また、英語の学力向上を学校としての重点課題とし、小学校専科指導や英語検定の受験を行っている。また、図書館活動の活性化および朝の読書タイムを通じて、生徒の多様な読書活動を支援している。

体力面では、「全国体力・運動能力、運動等習慣調査」において、経年比較で全般的に数値の向上が見られるが、体力合計得点で全国・大阪市にわずかに追いついていない。

今後『主体的・対話的で深い学び』を目標に学力・体力の向上のため、学校総体として取り組むことが継続課題である。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】**

○令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を85%以上とする。(基本的な方向1)

| 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|
| 79.4% | 84.3% | 78.2% |

○令和7年度末の校内調査において、不登校生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。(基本的な方向1)

| 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|
| 8.7%  | 12.0% | 15.2% |

○令和7年度末の校内調査の「学校では、命を大切にし、人権を尊重する心と態度を育てるための機会が多くある」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を毎年90%以上とする。(基本的な方向2)

| 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 93.5% | 95.8% | 94.6% | 93.4% |

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」で毎年全国平均を上回ると共に、校内アンケートで「授業に意欲的に取り組んでいる」の項目について、「できている（どちらかといえばできている）」と回答する生徒の割合を85%以上とする。（基本的な方向4）

|       |    | 平均正答率(%) |      |      |      | 平均無解答率(%) |      |     |     |
|-------|----|----------|------|------|------|-----------|------|-----|-----|
|       |    | 国語       | 数学   | 理科   | 英語   | 国語        | 数学   | 理科  | 英語  |
| 令和5年度 | 学校 | 71       | 54   | -    | 49   | 3.9       | 7.2  | -   | 3.7 |
|       | 全国 | 69.8     | 51.0 | -    | 45.6 | 4.6       | 9.6  | -   | 5.7 |
| 令和4年度 | 学校 | 71       | 60   | 51   | -    | 3.1       | 6.7  | 2.8 | -   |
|       | 全国 | 69.0     | 51.4 | 49.3 | -    | 4.3       | 10.8 | 3.4 | -   |
| 令和3年度 | 学校 | 65       | 61   | -    | -    | 3.9       | 7.4  | -   | -   |
|       | 全国 | 64.6     | 57.2 | -    | -    | 4.4       | 11.2 | -   | -   |

| 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 89.7% | 88.0% | 86.2% | 87.7% |

- 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における調査結果を、前年と比較して男女とも上回る種目を増やす。（基本的な方向5）

| 年度 |  | 握力   | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 持久走<br>男子<br>1500m<br>女子<br>1000m | 20m<br>シャトルラン | 50m<br>走 | 立ち幅とび | ハンドボール<br>投げ | 体力合計点 |
|----|--|------|-------|-------|-------|-----------------------------------|---------------|----------|-------|--------------|-------|
|    |  | (kg) | (回)   | (cm)  | (点)   | (秒)                               | (回)           | (秒)      | (cm)  | (m)          | (点)   |

#### 【男子】

|   |    |       |       |       |       |        |       |      |        |       |       |
|---|----|-------|-------|-------|-------|--------|-------|------|--------|-------|-------|
| 5 | 学校 | 26.14 | 24.52 | 44.44 | 49.01 | -      | 77.31 | 8.10 | 195.06 | 18.52 | 39.32 |
|   | 全国 | 29.02 | 25.82 | 44.16 | 51.22 | 409.02 | 78.07 | 8.01 | 197.02 | 20.40 | 41.32 |
| 4 | 学校 | 27.05 | 24.97 | 42.38 | 50.11 | -      | 75.88 | 7.84 | 201.35 | 16.71 | 39.17 |
|   | 全国 | 28.99 | 25.74 | 43.87 | 51.05 | 409.81 | 78.07 | 8.06 | 196.89 | 20.28 | 41.04 |
| 3 | 学校 | 28.53 | 24.79 | 41.20 | 49.63 | -      | -     | 8.27 | 199.05 | 18.32 | -     |
|   | 全国 | 28.80 | 25.99 | 43.67 | 51.19 | 406.38 | 79.88 | 8.01 | 196.36 | 20.31 | 41.18 |

#### 【女子】

|   |    |       |       |       |       |        |       |      |        |       |       |
|---|----|-------|-------|-------|-------|--------|-------|------|--------|-------|-------|
| 5 | 学校 | 20.77 | 19.97 | 43.11 | 41.84 | -      | 46.19 | 9.18 | 157.95 | 10.23 | 41.91 |
|   | 全国 | 23.15 | 21.62 | 46.27 | 45.65 | 306.26 | 50.70 | 8.95 | 166.34 | 12.43 | 47.22 |
| 4 | 学校 | 21.74 | 20.56 | 44.80 | 44.94 | -      | 49.36 | 9.01 | 168.20 | 10.20 | 44.27 |
|   | 全国 | 23.21 | 21.67 | 46.07 | 45.81 | 302.89 | 51.60 | 8.96 | 167.04 | 12.45 | 47.42 |
| 3 | 学校 | 22.02 | 20.79 | 43.91 | 44.41 | -      | -     | 8.97 | 163.61 | 10.86 | -     |
|   | 全国 | 23.43 | 22.32 | 46.20 | 46.25 | 297.62 | 54.24 | 8.88 | 168.15 | 12.72 | 48.56 |

### 【学びを支える教育環境の充実】

- I C Tを活用した授業、アクティブラーニング的要素を取り入れた授業づくりに取り組み、校内アンケートで「教え方が工夫されていて、授業がわかりやすい」の項目について、「そう思う（どちらかといえば、そう思う）」と答える生徒の割合を 8 5 %以上にする。（基本的な方向 6）

| 令和 2 年度 | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 |
|---------|---------|---------|---------|
| 88. 6%  | 87. 3%  | 88. 1%  | 88. 8%  |

- 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 7 0 %以上にする。（基本的な方向 7）

| 令和 4 年度 | 令和 5 年度 |
|---------|---------|
| 70%     | 85%     |

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を85%以上にする。

| 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|
| 79.4% | 84.3% | 78.2% |

- ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。

| 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|
| 8.7%  | 12.0% | 15.2% |

- ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

| 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|
| 8.3%  | 14.9% | 17.0% |

#### 学校園の年度目標

- ①令和5年度の校内アンケートでいじめをなくす取り組みとして、「本校では、悩みや困ったことがあれば誠実に対応している」の項目について、「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する生徒の割合を85%以上とする。（基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現）

| 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 84.4% | 83.1% | 81.5% | 84.6% |

- ②校内アンケートにおける「学校の決まり・規則 を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と回答する生徒の割合を95%以上にする。（基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現）

| 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 96.2% | 97.1% | 95.8% | 95.8% |

- ③令和5年度の校内アンケートで「悩みや困ったことがあれば相談できる人がいる」の項目について、「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する生徒の割合を85%以上とする。（基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現）

| 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 87.0% | 86.1% | 89.5% | 85.2% |

- ④令和5年度の校内アンケートで「命や人権の大切さについて考えたことがある」の項目について、「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する生徒の割合を90%以上とする。（基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現）

| 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 93.5% | 95.8% | 94.6% | 93.4% |

- ⑤令和５年度の校内アンケートで「学校行事に積極的に関わるなど、楽しい学校生活を過ごしている」の項目について、「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する生徒の割合を８５％以上とする。（基本的な方向１ 安全・安心な教育環境の実現）

| 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 90.3% | 91.4% | 92.3% | 91.1% |

- ⑥本校独自の取組であるＣＴ（シチズンシップタイム）を通じて、道徳心・社会性の育成に努め、令和５年度の校内アンケートで「本校ではＣＴの時間を通して、「絆」・「命」・「夢」について指導している」の項目について、「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する生徒の割合を９０％以上とする。（基本的な方向２ 豊かな心の育成）

|     | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 「絆」 | 95.3% | 94.1% | 94.2% | 95.3% |
| 「命」 | 95.3% | 95.1% | 93.9% | 95.1% |
| 「夢」 | 92.0% | 90.7% | 89.7% | 88.6% |

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を４５％以上にする。

| 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 |
|-------|-------|-------|
| 39.1% | 41.9% | 29.3% |

- ・中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より０.５ポイント向上させる。

|       | １年（77期生） |      | ２年（76期生） |      | ３年（75期生） |      |
|-------|----------|------|----------|------|----------|------|
|       | 国語       | 数学   | 国語       | 数学   | 国語       | 数学   |
| 令和５年度 | 1.14     | 1.26 | 1.06     | 1.14 | 1.03     | 1.02 |
| 令和４年度 |          |      | 0.99     | 1.09 | 1.01     | 1.08 |
| 令和３年度 |          |      |          |      | 1.00     | 1.02 |

- ・大阪市英語力調査におけるＣＥＦＲ Ａ１レベル相当以上の英語力を有する中学３年生の割合（４技能）を７０％以上にする。

| 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 |
|-------|-------|-------|
| 71.2% | 69.4% | 64.9% |

- ・年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を４６％以上にする。

| 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 |
|-------|-------|-------|
| 52.1% | 45.8% | 47.3% |

## 学校園の年度目標

- ①年度末の校内アンケートにおける『授業やC Tの時間などで「聞き取る」「考える」「伝える」の3つの力を身につけていますか』に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を35%以上にする。(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上)

| 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|
| 35.6% | 34.1% | 38.1% |

- ②令和5年度の学校評価アンケートで「授業の内容がよく理解できている・教え方を工夫されていて授業が分かりやすい」の項目について、「そう思う」と回答する生徒の割合を30%以上とする。(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上)

| 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|
| 36.1% | 32.7% | 33.8% |

- ③令和5年度の学校評価アンケートで「家庭学習の定着に取り組んでいる」の項目について「そう思う(どちらかといえばそう思う)」と回答する生徒の割合を85%以上とする。(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上)

| 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|
| 88.2% | 88.8% | 87.7% |

- ④大阪市英語力調査におけるC E F R A 1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を65%以上にする。(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上)

| 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|
| 71.2% | 69.4% | 64.9% |

- ⑤全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、課題である「筋力・柔軟性関係の種目」の平均記録を、前年度より0.5ポイント向上させる。(基本的な方向5 健やかな体の育成)

| 2年 |       | 令和3年度    | 令和4年度    | 令和5年度    |
|----|-------|----------|----------|----------|
| 男子 | 握力    | 28.53 kg | 27.05 kg | 26.14 kg |
|    | 上体起こし | 24.79 回  | 24.97 回  | 24.52 回  |
|    | 長座体前屈 | 41.20 cm | 42.38 cm | 44.44 cm |
| 女子 | 握力    | 22.02 kg | 21.74 kg | 20.77 kg |
|    | 上体起こし | 20.79 回  | 20.56 回  | 19.97 回  |
|    | 長座体前屈 | 43.91 cm | 44.80 cm | 43.11 cm |

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- ・授業日における学習者用端末の日別活用率を、30%以上にする。

| 令和5年度         |        |        |
|---------------|--------|--------|
| 41.34%（9月平均）  |        |        |
| 47.00%（12月平均） | 36.91% | （1月平均） |

- ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を70%以上にする。

| 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|
| 70%   | 85%   |

#### 学校園の年度目標

- ①令和5年度末の校内調査において、生徒1人当たりの学校図書年間貸出冊数を前年度より1冊増加させる。（基本的な方向8 生涯学習の支援）

| 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|
| 1.6冊  | 1.8冊  | 1.3冊  |

### 3 本年度の自己評価結果の総括

#### 【安全・安心な教育の推進】

生徒の決まりごとを守ろうとする意識が高く、落ち着いた学習環境を維持している。

様々な対策を講じているが、不登校生徒が増加傾向にある。関係者の負担軽減を考慮しつつ、背景理解・未然防止・居場所づくりにむけた取り組みをさらに進展させる必要がある。

本校独自の CT(シチズンシップタイム)は、所期の目的を達成している。指標の一つである「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」で、最も肯定的な回答の割合が向上するよう、取り組みを継続していく(令和6年度は、全国・大阪市平均を下回っている)。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全国学力・学習状況調査、中学生チャレンジテスト等の結果において、全国や大阪市平均を上回る結果を残した。

家庭での学習を定着させる取り組みの成果がでている。「自分で」「計画的に」という視点では、少し弱さがみられる。生徒が学習に意欲的になるよう、指導内容・手法の改善に取り組む必要がある。

全国体力・運動能力、運動等習慣調査では、男子が3種目と体力合計点で、女子が1種目で前年を上回った。体力合計点は、全国・大阪市平均を下回った。1週間の運動時間が60分未満の生徒の割合は、全国平均を上回っているが(女子が顕著)、運動やスポーツが好き・大切と考える生徒の割合では大きな差はない。施設面で不利な点はあるが、進んで運動しようとする意欲を高める取り組みが必要である。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

授業日における学習者端末の日別活用率は、目標を達成した。令和6年度以降は、さらなる活用を市として目指している。本校においても、活用場面の拡大を図るとともに、通信環境の改善を求めている。

教職員の長時間勤務は、年々改善されているが、第2期「学校園における働き方改革推進プラン」の達成目標とはかなりの差がある。行事、会議、業務の改善に引き続き取り組んでいく。



## 大阪市立花乃井中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

|      |                     |                        |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A:目標を上回って達成した       | B:目標どおりに達成した           |
|      | C:取り組んだが目標を達成できなかった | D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標  |       | 達成状況  |       |
|---|-------|-------|-------|
| 【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】   |       |       |       |
| 全市共通目標(中学校)   |       |       |       |
| ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を80%以上にする。  |       |       |       |
| 令和3年度   | 令和4年度 | 令和5年度 |       |
| 79.4%   | 84.3% | 78.2% |       |
| ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。  |       |       |       |
| 令和3年度   | 令和4年度 | 令和5年度 |       |
| 8.7%  | 12.0% | 15.2% |       |
| ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。   |       |       |       |
| 令和3年度   | 令和4年度 | 令和5年度 |       |
| 8.3%  | 14.9% | 17.0% |       |
| 学校の年度目標   |       |       |       |
| ①令和5年度の校内アンケートでいじめをなくす取り組みとして、「本校では、悩みや困ったことがあれば誠実に対応している」の項目について、「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する生徒の割合を85%以上とする。（基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現） |       |       |       |
| 令和2年度   | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 84.4%   | 83.1% | 81.5% | 84.6% |
| ②校内アンケートにおける「学校の決まり・規則 を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と回答する生徒の割合を95%以上にする。（基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現）                         |       |       |       |
| 令和2年度   | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 96.2%   | 97.1% | 95.8% | 95.8% |
| ③令和5年度の校内アンケートで「悩みや困ったことがあれば相談できる人がいる」の項目について、「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する生徒の割合を85%以上とする。（基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現）                     |       |       |       |
| 令和2年度   | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 87.0%   | 86.1% | 89.5% | 85.2% |

- ④令和５年度の校内アンケートで「命や人権の大切さについて考えたことがある」の項目について、「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する生徒の割合を９０％以上とする。（基本的な方向１ 安全・安心な教育環境の実現）

| 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 93.5% | 95.8% | 94.6% | 93.4% |

- ⑤令和５年度の校内アンケートで「学校行事に積極的に関わるなど、楽しい学校生活を過ごしている」の項目について、「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する生徒の割合を８５％以上とする。（基本的な方向１ 安全・安心な教育環境の実現）

| 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 90.3% | 91.4% | 92.3% | 91.1% |

- ⑥本校独自の取組であるＣＴ（シチズンシップタイム）を通じて、道徳心・社会性の育成に努め、令和５年度の校内アンケートで「本校ではＣＴの時間を通して、「絆」・「命」・「夢」について指導している」の項目について、「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する生徒の割合を９０％以上とする。（基本的な方向２ 豊かな心の育成）

|     | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 「絆」 | 95.3% | 94.1% | 94.2% | 95.3% |
| 「命」 | 95.3% | 95.1% | 93.9% | 95.1% |
| 「夢」 | 92.0% | 90.7% | 89.7% | 88.6% |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標   | 進捗状況     |
|--|----------|
| <p>＜生活指導部＞</p> <p>取組内容①【基本的な方向１ 安心安全な教育環境の実現】</p> <p>いじめや不登校の未然防止・早期発見および早期対応に努める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>「こころの天気」「相談機能」等を活用して、相談支援のきっかけづくりを増やす。</p>                     | <b>B</b> |
| <p>＜生活指導部＞</p> <p>取組内容②【基本的な方向１ 安心安全な教育環境の実現】</p> <p>児童虐待等のＳＯＳキャッチを早期支援につなげるため、関係機関との連携を密にする。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>ＳＣ・ＳＳＷ、子どもサポートネット等と連携し、学期に１回以上、スクリーニング会議Ⅱを実施する。</p> | <b>A</b> |
| <p>＜ＣＴ委員会：Ｂ＞＜１学年：Ａ＞＜２学年：Ｂ＞＜３学年：Ａ＞</p> <p>取組内容③【基本的な方向２ 豊かな心の育成】</p> <p>ＣＴ（シチズンシップタイム）の取り組みを通じて、人権教育を推進する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>各学年の年間計画に従って、人権教育を実施する。</p>             | <b>B</b> |

|   |          |
|---|----------|
| <p>〈進路委員会：A〉〈1 学年：A〉〈2 学年：A〉〈3 学年：B〉</p> <p>取組内容④【基本的な方向 2 豊かな心の育成】<br/>キャリア教育を推進し、生徒の自己実現を支援する。</p> <hr/> <p>指標<br/>各学年の年間計画に従って、キャリア教育（職業体験・職業講話・高校授業体験等）を実施する。</p>   | <b>B</b> |
| <p>〈校務運営部：A〉〈1 学年：A〉〈2 学年：A〉〈3 学年：A〉</p> <p>取組内容⑤【基本的な方向 2 豊かな心の育成】<br/>泊行事等の学校行事をととして「絆」を深めるとともに、芸術鑑賞等を実施して豊かな感性と表現力を育成する。</p> <hr/> <p>指標<br/>年間計画に従って、学校行事や芸術鑑賞を実施する。</p>  | <b>A</b> |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析【最終】   |          |
| <p>取組内容① いじめや不登校の未然防止・早期発見および早期対応に努める。</p> <p>【生活指導部】<br/>「一週間の振り返り」を使用し、生徒の心の変化を把握し、いじめや生徒間トラブルを早期に発見し、対応した。しかし「心の天気」の活用はまだ不十分である。</p> <p>取組内容② 児童虐待等の SOS キャッチを早期支援につなげるため、関係機関との連携を密にする。</p> <p>【生活指導部】<br/>今年度 SSW は、毎週木曜日学校に1時間常駐してもらい、情報交換に努めた。結果、不登校生徒・保護者の SSW へつながりができた。また西区学警補導連絡会や NHM(花乃井中学校校下 青少年指導員指導ルーム)など関係諸機関の連携を図ることができた。</p> <p>取組内容③ CT(シチズンシップタイム)の取り組みを通じて、人権教育を推進する。</p> <p>【CT 委員会】<br/>各学年で発生した生活指導上の問題などの実情に合わせて年間の CT の取り組み計画を策定し、人権教育を充実させることができた。</p> <p>【1 学年】<br/>担任、副担すべてが関わるように、道徳の授業を計画的に行った。</p> <p>【2 学年】<br/>2 年生では性教育を行い、人とかかわり方や相手を尊重することの大切さについて考えることができた。</p> <p>【3 学年】<br/>修学旅行に向けて平和学習を行い、基本的人権について考えることができた。</p> <p>取組内容④ キャリア教育を推進し、生徒の自己実現を支援する。</p> <p>【進路委員会】<br/>12 月実施の生徒アンケートの「あなたは、将来の夢や目標を持っていますか。」の質問に対し、肯定的に答えた割合が1年生「62.1%」「59.3%」「60.4%」となり、2020 年の全国統一中学生テストの結果(1年生「60.7%」、2年生「50.5%」、3年生「46.3%」)と比較しても全学年において上回った。</p> |          |

**【1学年】**

2月に職業講話を行った。

**【2学年】**

職場体験やキャリア学習を通じて、自分の将来について考えることができた。

**【3学年】**

生徒一人ひとりの進路獲得に向け、進路懇談を中心に支援することができた。

取組内容⑤ 泊行事等の学校行事をとおして「絆」を深めるとともに、芸術鑑賞等を実施して豊かな感性と表現力を育成する。

**【校務運営部】**

泊行事等の学校行事をとおして「絆」を深めるとともに、芸術鑑賞等を実施して豊かな感性と表現力を育成することができた。

**【1学年】**

一泊移住において、学年の絆が深まった。

**【2学年】**

校外学習や合唱コンクールを通じて、クラスでの絆を深めることができた。

**【3学年】**

修学旅行では、班別学習を行い絆を深めることができた。

次年度への改善点

取組内容① いじめや不登校の未然防止・早期発見および早期対応に努める。

**【生活指導部】**

「心の天気」「相談機能」の活用を図り、生徒の心の変化を早期に発見し、その対応に努めていく必要がある。

取組内容② 児童虐待等のSOSキャッチを早期支援につなげるため、関係機関との連携を密にする。

**【生活指導部】**

来年度も、こども相談センターや区役所子育て支援室などの関係諸機関との連携をさらに図り、情報交換を密に行うことで早期対応を図っていく。

取組内容③ C T (シチズンシップタイム)の取り組みを通じて、人権教育を推進する。

**【CT委員会】**

道徳と総合的読解力育成の授業時数増加に伴い、来年度以降の人権教育に関する取り組み内容の工夫や時間数の調整について、さらなる検討を進めたい。

**【1学年】**

来年度も継続する。

**【2学年】**

進路が年々複雑になっていく中で、人権や命について考える時間を十分に確保するのが難しくなっているため、取り組む時間を有効に活用していく必要がある。

**【3学年】**

被ばく者の高齢化が進み、1世の方から直接お話を聞く機会が難しくなってくることが予想されるため、CT 命の取り組みを幅広く考える必要がある。

取組内容④ キャリア教育を推進し、生徒の自己実現を支援する。

**【進路委員会】**

今後は変化する社会に合わせて、取り組み内容を精査し、実施していく。

**【1学年】**

1年時の職業講話で、将来について考える機会となったので、2年の職場体験につなげる。

**【2学年】**

不登校性が多く、理由も様々であるため、保護者、本人を含めて早めに動いていくことや、それ以外の生徒についても、それぞれに合わせた進路について十分な知識や、研修に積極的に参加しての情報収集をしていく必要がある。

**【3学年】**

不登校生徒の進路獲得に向けて、早い段階からアプローチしたものの、年度末までの進路獲得が難しい生徒が数名いる。これまで以上に関係諸機関との連携を深めていく必要がある。

取組内容⑤ 泊行事等の学校行事をとおして「絆」を深めるとともに、芸術鑑賞等を実施して豊かな感性と表現力を育成する。

**【校務運営部】**

今後さまざまな取り組みが増えていく中で、泊行事や芸術鑑賞会を実施して行く上で、時期などを調整していく必要がある。

**【1学年】**

2年生では泊行事はないが、校外学習で「絆」を高める。

**【2学年】**

6月に修学旅行を控えており、全員が参加できるように、3月から計画的に動いていく。

**【3学年】**

長崎での修学旅行は内容の濃いものとなり、参加率も92%になった。しかし、集約列車の関係で、土日を含む日程であったため、公式戦の生徒が参加を見送った。

## 大阪市立花乃井中学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

|      |                      |                         |
|------|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 | A: 目標を上回って達成した       | B: 目標どおりに達成した           |
|      | C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標  |             |         |             |         |             |      | 達成<br>状況 |
|---|-------------|---------|-------------|---------|-------------|------|----------|
| 【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】   |             |         |             |         |             |      |          |
| 全市共通目標(中学校)   |             |         |             |         |             |      |          |
| ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 40% 以上にする。                             |             |         |             |         |             |      |          |
| 令和 3 年度   |             | 令和 4 年度 |             | 令和 5 年度 |             |      |          |
| 39.1%   |             | 41.9%   |             | 29.3%   |             |      |          |
| ・中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.5 ポイント向上させる。   |             |         |             |         |             |      |          |
|   | 1 年 (77 期生) |         | 2 年 (76 期生) |         | 3 年 (75 期生) |      |          |
|   | 国語          | 数学      | 国語          | 数学      | 国語          | 数学   |          |
| 令和 5 年度   | 1.14        | 1.26    | 1.06        | 1.14    | 1.03        | 1.02 |          |
| 令和 4 年度   |             |         | 0.99        | 1.09    | 1.01        | 1.08 |          |
| 令和 3 年度   |             |         |             |         | 1.00        | 1.02 |          |
| ・大阪市英語力調査における C E F R A1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合 (4 技能) を 70% 以上にする。  |             |         |             |         |             |      |          |
| 令和 3 年度   |             | 令和 4 年度 |             | 令和 5 年度 |             |      |          |
| 71.2%   |             | 69.4%   |             | 64.9%   |             |      |          |
| ・年度末の校内調査における「運動 (体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を 40% 以上にする。  |             |         |             |         |             |      |          |
| 令和 3 年度   |             | 令和 4 年度 |             | 令和 5 年度 |             |      |          |
| 52.1%   |             | 45.8%   |             | 47.3%   |             |      |          |
| 学校の年度目標   |             |         |             |         |             |      |          |
| ①年度末の校内アンケートにおける『授業や C T の時間などで「聞き取る」「考える」「伝える」の 3 つの力を身につけていますか』に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 35% 以上にする。(基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上) |             |         |             |         |             |      |          |
| 令和 3 年度   |             | 令和 4 年度 |             | 令和 5 年度 |             |      |          |
| 35.6%   |             | 34.1%   |             | 38.1%   |             |      |          |

B

- ②令和５年度の学校評価アンケートで「授業の内容がよく理解できている・教え方を工夫されていて授業が分かりやすい」の項目について、「そう思う」と回答する生徒の割合を３０％以上とする。（基本的な方向４ 誰一人取り残さない学力の向上）

| 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 |
|-------|-------|-------|
| 36.1% | 32.7% | 33.8% |

- ③令和５年度の学校評価アンケートで「家庭学習の定着に取り組んでいる」の項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する生徒の割合を８５％以上とする。（基本的な方向４ 誰一人取り残さない学力の向上）

| 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 |
|-------|-------|-------|
| 88.2% | 88.8% | 87.7% |

- ④大阪市英語力調査におけるＣＥＦＲ Ａ１レベル相当以上の英語力を有する中学３年生の割合（４技能）を６５％以上にする。（基本的な方向４ 誰一人取り残さない学力の向上）

| 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 |
|-------|-------|-------|
| 71.2% | 69.4% | 64.9% |

- ⑤全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、課題である「筋力・柔軟性関係の種目」の平均記録を、前年度より０．５ポイント向上させる。（基本的な方向５ 健やかな体の育成）

| ２年 |       | 令和３年度    | 令和４年度    | 令和５年度    |
|----|-------|----------|----------|----------|
| 男子 | 握力    | 28.53 kg | 27.05 kg | 26.14 kg |
|    | 上体起こし | 24.79 回  | 24.97 回  | 24.52 回  |
|    | 長座体前屈 | 41.20 cm | 42.38 cm | 44.44 cm |
| 女子 | 握力    | 22.02 kg | 21.74 kg | 20.77 kg |
|    | 上体起こし | 20.79 回  | 20.56 回  | 19.97 回  |
|    | 長座体前屈 | 43.91 cm | 44.80 cm | 43.11 cm |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標【最終】   |  | 進捗状況 |
|--|--|------|
| <p>〈校務運営部：A〉〈ICT委員会：B〉〈国語科：B〉〈数学科：B〉〈理科：B〉<br/>〈社会科：B〉〈音楽科：B〉〈美術科：B〉〈保健体育科：B〉〈技術家庭科：B〉<br/>〈英語科：B〉〈特別支援教育委員会：B〉</p> <p>取組内容①③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】<br/>生徒が主体的に学習に取り組める指導内容、指導方法を工夫し、自主学習習慣の定着につなげる。</p> |  | B    |
| <p>指標<br/>日々の授業のなかで、「話し合い（聞き合い）」する場面を増やす。</p>  |  |      |



|  |          |
|--|----------|
| <p>＜教頭＞</p> <p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>学校元気アップ事業を通して、地域の教育力を広く取り入れ、放課後学習会や家庭での学習の定着を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>国語・数学・英語の各教科を中心に、教科担当者と地域との協働で「放課後学習会」「テスト前自主学习」「家庭学習プリント」等を実施する。</p>  | <b>A</b> |
| <p>＜健康教育部＞</p> <p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>健康な生活習慣を確立するために、学校保健計画において、各教科のシラバスと関連づけた月ごとの重点目標を設定する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>学校保健計画にそって各教科と関連させた保健業務を実施する。</p>  | <b>B</b> |
| <p>＜保健体育科＞</p> <p>取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>体育的活動を充実させる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>体育の授業時等に体操・筋力トレーニングやストレッチを正確に実施させ、基礎体力の定着を図る。また、敏速な行動による十分な実技時間を確保する。</p>   | <b>B</b> |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析  |          |
| <p>取組内容①③ 生徒が主体的に学習に取り組める指導内容、指導方法を工夫し、自主学習習慣の定着につなげる。</p> <p>【校務運営部】</p> <p>校内研究授業をおよび研究協議を実施し、各教員の個々の授業力を図ることができた。また、オンライン授業がいつでも行うことができるよう、各教員が共通認識を持って準備していたので、臨時休業時においては、スムーズにオンライン授業を実施することができた。</p> <p>【ICT委員会】</p> <p>「話し合い(聞き合い)」する場面の材料として学習者用端末の活用(TeamsやKahoot!等)が各教科で工夫されている。また、自主学習習慣の定着としてデジタルドリル「ナビマ」の活用、Teamsの音読機能の活用も各教科で進んだ。</p> <p>【国語科】</p> <p>指導内容を工夫して生徒が主体的に取り組めるように努めた。授業導入時の基礎的な語句を主体的に取り組ませた。授業中の挙手を的確に評価することで主体的に授業に参加させた。ビブリオバトルやアクティブラーニングなどとおして主体的に生徒同士で学び合わせることができた。独自の漢字プリントを課題としてさせることで自主学習の定着に努めた。</p> <p>【数学科】</p> <p>各学年オリジナルのプリントを作成し、プロジェクターなども使いながら、視覚的にも理解しやすいように工夫した。</p> <p>【理科】</p> <p>ICTを活用し調べ学習などを通して生徒が主体的・意欲的に学習できるよう工夫に努めた。</p> <p>【社会科】</p> <p>授業でタブレットを使用し、課題に応じパワーポイントを作成しクラスで発表を行うなど、主体的に取り組む姿勢が見られる生徒は増加してきた。しかし、定期テストの結果に関しては、点数的に30点台未満の生徒も多く、全体的に暗記力が弱く、漢字間違いも多い。また、宿題やプリント学習は取り組んでいるものの、自主学習の定着には至っていないのが現状である。</p> |          |



### 【音楽科】

デジタル教科書を使用し、聴覚だけではなく、視覚的にもわかりやすい教材を使用し、苦手な生徒にも寄り添うようにできた。

### 【美術科】

Teams に資料(制作の)を保存し、いつでも自分のタイミングで見られるようにした。感染症や欠席、日本語の理解が難しい生徒に対して効果的であったと思う。

### 【保健体育科】

ICT の活用や長期休業で課題を作成したことにより、主体的に運動に取り組む生徒が増えた。

### 【技術家庭科】

実技・座学を通し、視覚教材や「解の再考ワークシート」プリント、班活動で調べ学習・発表をする授業展開を工夫した。また、学習にワークブックなどを利用し、復習しやすい環境を整えた。

### 【英語科】

大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合(4 技能)は、64.9%でほぼ目標達成できた。帯活動として、あるテーマについて1分間英語で対話をさせている学年もあるが、日々の授業のなかでの「話し合い(聞き合い)」する場面は十分に設けられていない。しかし、各学年、習熟度別少人数授業を実施している。生徒の習熟度に応じた授業をおこなうことで、どの生徒も主体的に学習に取り組んでいる。

### 【特別支援教育委員会】

抽出の授業や放課後指導の際に本人に合わせた指導として、ICT 機器を使った個別指導、1つの教材を使つての教え合いの機会を作り、主体的に取り組める場面を設定している。また、教育支援計画・教育指導計画を有効に活用し、共有できる場面の設定することで段階的な成長を図る。別のアプローチとして学習の基盤となる認知機能の強化や身体面、社会面を向上させることを目的としてコグトレを利用している。

**取組内容②** 学校元気アップ事業を通して、地域の教育力を広く取り入れ、放課後学習会や家庭での学習の定着を図る。

### 【教頭】

今年度、12月現在での元気アップ学習会の参加者は延べ人数で、1年生が210名、2年生が86名、3年生が113名で、合計409名だった。コーディネーターやサポーターの地域の教育力を生かして、放課後学習会を有効活用できて、家庭学習の定着を図ることができた。

「あなたは、家庭学習プリント等を活用して家庭学習の習慣化ができていますか」という学校教育アンケートに対して、肯定的な回答の割合が75.2%だった。

**取組内容④** 健康な生活習慣を確立するために、学校保健計画において、各教科のシラバスと関連づけた月ごとの重点目標を設定する。

### 【健康教育部】

生徒の定期健康診断・職員研修会(救急救命)・部活動生徒対象熱中症講習会等、学校保健計画に沿って実施することができた。

**取組内容⑤** 体育的活動を充実させる。

### 【保健体育科】

ウォーミングアップの方法を各種目ごとに設定した。

次年度への改善点

**取組内容①③** 生徒が主体的に学習に取り組める指導内容、指導方法を工夫し、自主学習習慣の定着につなげる。

**【校務運営部】**

校内研究授業および研究協議については、今後も継続していきたい。オンライン授業については、充実した配信を行うために、機器の充実を図っていく必要がある。

**【ICT 委員会】**

各教科にお任せになっているので、ICT 委員会で集約したり、提案できるものを模索していきたい。

**【国語科】**

さらに指導内容を工夫して、読書を中心に生徒が主体的に学べるように努める。

**【数学科】**

パソコンを使い、自主学習できるソフトがあるので、家庭学習や授業で活用していきたい。

**【理科】**

指導方法のさらなる改善と、理科に対して苦手意識をもつ生徒を減らし、主体的・意欲的な生徒を増やす。

**【社会科】**

パワーポイント作成し班で発表をする技量はついてきたが、調べた内容の理解が不十分であり、主体的に取り組むには、基礎学力の定着が必要であり、授業において、教科書の内容以上の説明を十分に行う必要がある。

**【音楽科】**

より分かりやすい教材や、アプローチの仕方を模索する。

**【美術科】**

学校の実態に合った取り扱う内容・題材の選定が必要。

**【保健体育科】**

今後も引き続き ICT を活用する。課題以外でも運動に取り組む生徒が増えるよう、授業で運動習慣について指導する。

**【技術家庭科】**

教科の單元ごとにより自主学習しやすさに差があるので、より教材の工夫をする必要がある。

**【英語科】**

生徒が主体的に取り組めるよう、引き続き、習熟度別少人数授業を実施し、指導内容や指導方法を工夫する。

**【特別支援教育委員会】**

今後、自校通級が開設されることも見据えて、特別支援だけではなく通級としての方向性をより明確化して学校全体に発信していく必要がある。また、今後も障害・特性が多様化していくことが予想される中で、支援体制・環境の配慮等を適切なものにしていけるように、特別支援担当の考えを共有し、検討していけるような仕組みを作っていく必要がある。

取組内容② 学校元気アップ事業を通して、地域の教育力を広く取り入れ、放課後学習会や家庭での学習の定着を図る。

【教頭】

家庭学習の定着が困難な生徒に手を差し伸べるとともに、さらなる放課後学習会の有効活用が求められる。コーディネーターやサポーターの地域の教育力を生かしつつ、それらを発展させる方策を検討する必要がある。

取組内容④ 健康な生活習慣を確立するために、学校保健計画において、各教科のシラバスと関連づけた月ごとの重点目標を設定する。

【健康教育部】

不登校生徒や外国から編入してきた生徒の健康診断実施方法については、工夫が必要である。

取組内容⑤ 体育的活動を充実させる。

【保健体育科】

運動量を確保するためにも、より効率的な準備・移動・片付けができる指示を行う。

## 大阪市立花乃井中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

|      |                      |                         |
|------|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 | A: 目標を上回って達成した       | B: 目標どおりに達成した           |
|      | C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組まず目標も達成できなかった |

| 年度目標   |               | 達成<br>状況 |  |               |  |                |               |       |       |     |     |       |       |       |      |      |      |   |
|--|---------------|----------|--|---------------|--|----------------|---------------|-------|-------|-----|-----|-------|-------|-------|------|------|------|---|
| <p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標(中学校)</p> <p>・授業日における学習者用端末の日別活用率を、30%以上にする。</p> <table><tr><th colspan="2">令和5年度</th></tr><tr><td colspan="2">41.34% (9月平均)</td></tr><tr><td>47.00% (12月平均)</td><td>36.91% (1月平均)</td></tr></table> <p>・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を70%以上にする。</p> <table><tr><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr><tr><td>70%</td><td>85%</td></tr></table> <p>学校の年度目標</p> <p>①令和5年度末の校内調査において、生徒1人当たりの学校図書年間貸出冊数を前年度より1冊増加させる。</p> <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr><tr><td>1.6冊</td><td>1.8冊</td><td>1.3冊</td></tr></table> |               | 令和5年度    |  | 41.34% (9月平均) |  | 47.00% (12月平均) | 36.91% (1月平均) | 令和4年度 | 令和5年度 | 70% | 85% | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 1.6冊 | 1.8冊 | 1.3冊 | A |
| 令和5年度  |               |          |  |               |  |                |               |       |       |     |     |       |       |       |      |      |      |   |
| 41.34% (9月平均)  |               |          |  |               |  |                |               |       |       |     |     |       |       |       |      |      |      |   |
| 47.00% (12月平均)   | 36.91% (1月平均) |          |  |               |  |                |               |       |       |     |     |       |       |       |      |      |      |   |
| 令和4年度  | 令和5年度         |          |  |               |  |                |               |       |       |     |     |       |       |       |      |      |      |   |
| 70%  | 85%           |          |  |               |  |                |               |       |       |     |     |       |       |       |      |      |      |   |
| 令和3年度  | 令和4年度         | 令和5年度    |  |               |  |                |               |       |       |     |     |       |       |       |      |      |      |   |
| 1.6冊   | 1.8冊          | 1.3冊     |  |               |  |                |               |       |       |     |     |       |       |       |      |      |      |   |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標  | 進捗状況     |
|---|----------|
| <p>〈ICT委員会〉</p> <p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</p> <p>ICTを活用した教育を推進する。</p> <p>指標</p> <p>日々の授業のなかで、「学習者用端末を操作」する場面を増やす。</p> | <b>A</b> |
| <p>〈教頭〉</p> <p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>教職員の業務軽減を図り、働き方改革を推進する。</p> <p>指標</p> <p>校務支援システムを活用し、会議時間を短縮する。</p>             | <b>B</b> |
| <p>〈国語科〉</p> <p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>生徒の読書活動を充実させる。</p> <p>指標</p> <p>朝の読書タイム、本の紹介 (読書の木、ビブリオバトル) など、生徒が主体的に活動する場面を保障する。</p>      | <b>B</b> |

| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析【最終】 |  |
|-----------------------------|--|
| 取組内容①                       | <p>ICTを活用した教育を推進する。</p> <p>【ICT委員会】<br/>授業内での学習者用端末の活用が進んだ。Formsを使った授業アンケートも新たにスタートした。<br/>先生方がスムーズに活用できるように機器管理や情報整理や提供に努めることができた。</p>  |
| 取組内容②                       | <p>教職員の業務軽減を図り、働き方改革を推進する。</p> <p>【教頭】<br/>時間外勤務時間が1か月で80時間を超える長時間勤務の教職員が、多い月で昨年度は19名いたのが、今年度は最大12名であった。<br/>遅刻欠席連絡等アプリ「ミマモルメ」を活用し、朝の電話対応の時間を大幅に減少させることができた。<br/>会議の精選を図るとともに、教育情報利用パソコンの機能を活用した会議を、職員会議、進路委員会等で導入できている。教職員が集まって行う会議を最小限にできつつある。<br/>職員会議の日を何回か午後5時00分までに退勤できるようにしていくことができた。</p> |
| 取組内容③                       | <p>生徒の読書活動を充実させる。</p> <p>【国語科】<br/>全校での取り組みで朝読書と読書の木(年3回)、国語科の2・3年でビブリオバトルを行うことができた。</p>   |
| 次年度への改善点                    |  |
| 取組内容①                       | <p>ICTを活用した教育を推進する。</p> <p>【ICT委員会】<br/>授業での活用については各教科にお任せになっているので、ICT委員会で集約したり、提案できるものを模索していきたい。<br/>機器管理に奔走しているが、場当たり的な対応になっているので体制整備をしていきたい。</p>  |
| 取組内容②                       | <p>教職員の業務軽減を図り、働き方改革を推進する。</p> <p>【教頭】<br/>まだまだ行事や会議の精選・厳選が必要である。<br/>月に1度は全教職員一斉の定時退勤日(ゆとりの日)を設定して、達成できるように業務軽減をさらに図っていく。</p>   |
| 取組内容③                       | <p>生徒の読書活動を充実させる。</p> <p>【国語科】<br/>図書館活動と連携しつつ、さらに生徒の読書活動を充実させていく。</p>   |